

# “女性の経済的エンパワーメント支援プロジェクト” におけるアフガン女性支援の活動報告



元MOWA-JICAプロジェクト リーダー/訓練計画専門家  
笠井 久美子

\* アフガニスタンにおいて  
女性がすべての暴力や差別から解放されるため、  
また  
女性の法的・経済的・社会的・政治的  
および市民としての権利が  
尊重され、奨励され、実現されるための  
政策調整と政策提言を行う



プロジェクト名:

女性の経済的エンパワーメント支援プロジェクト

プロジェクトサイト:

- \* カブール市 (女性課題省本省)
- \* バルフ州 (マザリシャリフ市と近郊郡部)
- \* バーミヤン州 (州内の全郡)
- \* カンダハル州

(★安全上の理由によりカンダハル州への支援は2006年7月末を以って中断)

プロジェクト期間: 2005年2月-2008年1月 (3年間)

3

**\* プロジェクトマネージャー**

女性課題省 副大臣 Ms. Mazari Safa

**\* カウンターパート (本省: 計27名 / 地方局: 計5名)**

**カブール本省 (MOWA)**

- 経済開発局: (局長1名・副局長1名・スタッフ15名)
- 地方連携局: (局長1名・副局長1名・スタッフ8名)

**州女性局 (DOWA)**

- バルフ州 (局長1名・経済担当スタッフ2名)
- バーミヤン州 (局長1名・経済担当スタッフ1名)
- カンダハル州 (局長1名) ※研修・セミナー以外の直接的支援は2006年7月末で打ち切ったが、局長ご本人が2006年9月に通勤の途に銃撃され死亡。その後プロジェクト終了まで後任なし)

**\* 日本人専門家 (計4名)**

**カブール本省 (MOWA)**

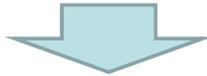
- リーダー/研修計画 (1名) 調整員 (1名)

**州女性局 (DOWA)**

- バルフ州 (1名) ※カンダハル州 (2006年7月までバルフ州と兼任)
- バーミヤン州 (1名)

4

- コミュニティー開発事業(CEPW)の実施、及び女性課題省の能力強化をとおして、女性の経済的エンパワーメント支援のために女性課題省が、自ら果たすべき役割を明確にすることが出来る



当時女性課題省にはUNIFEM,GTZ他複数の国際ドナーが支援を行っていたが、主に女性支援の政策作り及びアドボカシー活動の支援が主であった。

JICAは、政策作りとエンパワーメント活動実施の両方への支援を実施することで、地域の女性たちが経験から自信を持ち、中央/地方行政官が活動から得た情報を有効な政策作りに活かすための活動支援を目指した。

## 女性課題省の能力強化

1. 経済開発局が州女性局から得た女性の経済的エンパワーメント支援に必要な情報を整理・分析し、女性課題省としての役割を考えられるようになる
2. 地方連携局が、女性課題省と州女性局との間の情報共有の仕組みを改善できるようになる
3. パイロット3州女性局の女性の経済的エンパワーメント支援のために必要な情報として女性/コミュニティの現状及び課題を整理し、女性課題省に報告できるようになる

## CEPWの実施

4. 対象女性/コミュニティが、CEPWの実施により、生計向上のための自分たちの抱える課題を明確にすることができる

タイプの異なる活動の実施により、バランス良く、持続性の高い経済的エンパワーメントの実現を目指した



## 女性課題省の能力強化において

### 1. 経済開発局 活動計画策定と実施

- \* アフガン全土の手工芸品展示ブースの設置
- \* ハンディクラフト展示会の実施支援
- \* 地方視察とカブールでのCEPW発表会の実施
- \* 地方の生活実態を見た上で課題の再確認



### 2. 地方連携局 地方と中央の情報共有

- \* 省内の書類所在を明確化したDocument Map作成
- \* 書類の起案と送付の手続きマニュアル作成
- \* 中央・地方職員向けレポートの書き方/ファイリング研修



### 3. 州女性局において 地方の特性を生かしたアクション

- \* ジェンダー研修(ムッラー<sup>宗教長</sup>の協力を得た男性向け研修実施)
- \* 女性の状況の情報収集と発信の強化
- \* CEPWの経験を通じた女性支援のアクションプランの作成

#### CEPWとは:

- \* Community Empowerment Program for Womenの略。
- \* 地方女性グループによる経済活動(生計向上・生活向上)を推進・支援したサブプロジェクト。

#### CEPWの狙い:

- ①CEPWの実施を通して、女性による生計・生活向上を活性化し、女性たちに経験と自信を与え、女性による活動のモデルとなる事例を作り、増やす。
- ②CEPW実施の計画・実施・モニタリングする経験を通して、女性課題省の経済的エンパワーメント実施能力の向上を図る。

#### CEPWの特徴:

- \* 村の女性たちが既に持っている役割・所有物・管理物(例えば、育児・子供の教育・家畜・樹木の世話、許されている活動範囲や余暇の過ごし方等々)に着目し、その中で女性グループが実施可能な事について、コミュニティに認められながら活動し、活性化できるための支援を行った。

# CEPWの活動と成果

## ①バルフ州において



- \* 女性の生計向上活動への参加意識向上のための活動
- \* 女性がアクセス可能な市場(販路)拡大のための活動
- \* 既存女性グループ(\*シューラ)の能力向上のための支援活動

\*シューラとは、アフガンの伝統的な女性互助グループ

に焦点を当て、食品加工支援・女性のためのラジオ放送支援・羊飼育・乳牛飼育等の10のサブプロジェクトを実施した。

プロジェクトに参加した女性たちの数(2,047人)

これらの活動により

女性の生計向上活動への男性理解者が増えた  
女性グループへの参加メンバーが増えた  
活動メンバーが自らの経験を語れるようになった

9

# CEPWの活動と成果

## バルフ州(写真)1



10

# CEPWの活動と成果 バルフ州(写真2)



# CEPWの活動と成果 バルフ州(写真3)

